

企画展

モズのはやにえ リターンズ

伊丹市昆虫館

2023 **10.25** (水) ~ 2024 **1.29** (月)

はやにえの謎
知って了吗?

木の枝にバッタやトカゲが刺さっている！偶然？イタズラ？それは「モズのはやにえ」です。時には魚や小鳥が刺さっていることも！?



はやにえにされたツチイナゴ

モズコメ
リターンズ

モズはスズメ目モズ科に属するスズメよりひとまわり大きな鳥です。はやにえがよく見つかる秋から冬にかけて、モズは見通しの良い木の上などで「キュン、キュン、キーキキキキ」と胸をはって鳴きます。これは縄張りを宣言する高鳴きです。



モズ (オス)

はやにえに
秘められた謎



はやにえにされたカナヘビ

どうしてモズははやにえを作のでしょうか？何故、すぐに食べずに置いておくのでしょうか？エサの少ない冬場の保存食とするため、獲物を尖った枝に刺して固定して食べるため、縄張りを示すため、狩りを楽しんでいるだけ？などなど様々な説が考えられてきました。

2019年その謎を解き明かす大発見がありました。はやにえはモズのオスがメスを獲得するために歌う歌声の質を高める栄養食だったのです。

企画展関連企画 講演会

モズのはやにえに秘められた謎

講師：西田有佑さん (株式会社バイオーム)

日時：12/2 (土) 10:30~12:00 場所：伊丹市昆虫館1階映像ホール

定員：70名 (電話申込 072-785-3582 先着順) 参加費：入館料のみ



西田有佑さん

はやにえの謎 (はやにえをたくさん作って食べたオスは早口で歌いメスにモテモテ) を明らかにした西田さんご本人から写真や映像も交えて分かりやすくお話しいたします。つがい形成期 (交尾前後) にモズのオスが、はやにえをつくる場所を見つけにくい所・見つけやすい所と変化させる謎についても教えていただきます。お楽しみに。

企画展関連企画 観察会

見つかるまで帰らないモズのはやにえ観察会

日時：12/16 (土) 10:00~12:00 場所：伊丹市内河川敷 参加費：300円/人

申込：Eメール (itakon@itakon.com) ・FAX (072-785-2306) ・往復ハガキ

受付期間：11/15~11/30 申込多数の場合は抽選 詳しくはお問い合わせください。

*けっこう歩きます・寒いです・ひつつき虫だらけになります



国指定重要文化財 枯木鳴鶴図 宮本武蔵筆 和泉市久保惣記念美術館蔵

高鳴きで秋を知らせ、はやにえという不思議な生態を見せるモズは多くの人の目にとまったのでしょうか。万葉集に歌われたモズ、小林一茶が詠んだモズ、地名になったモズ、宮本武蔵が描いたモズなど〇〇になったモズを紹介します。



善意の
はやにえ

ひとに踏まれないように、落とし主が探しやすいようにフェンスや木などに落し物を引っ掛けておいてあげる行為。それが善意のはやにえです。



善意のはやにえ (クツ) 写真：吉永健一さん

他、モズのはやにえ 300 連発 (写真・実物) モズの剥製、貴重映像、モズグッズなども。モズのはやにえの世界をお楽しみ下さい。

